

スモーククリア導入で

喫煙者も非喫煙者も満足するクリア分煙を実現

離反客が戻り、新規客も増加

PRONTO 池袋西口公園店

東京都豊島区西池袋1-15-7 吉大ビル1F

席数：94席

営業時間：カフェタイム7時～17時30分 キッサカバ17時30分～23時

■昼はカフェ、夜はキッサカバで、空間と時間を嗜む場をめざす

全国に約300店舗を展開する『PRONTO（プロント）』は、もともと昼はカフェ、夜はバーとして営業していた。2021年には、酒場でありながら、喫茶店のような懐かしさやワクワク感のある空間で、おつまみ、お酒を提供する、バーより入りやすい新業態『キッサカバ（喫茶酒場）』を開発。アルコール類を充実させた他、クリームソーダやコーヒーフロートなど懐かしい飲み物もそろえ、フードは新たにフライヤーを導入して、揚げ物系をラインアップするなど、酒場メニューに一新した。同年4月から順次、夜の営業をバーからキッサカバに切り替え中だ。

併せて、昼間のカフェタイムについても、メニューのブラッシュアップを図るとともに、魅力ある季節メニューを強化するなど、リブランディングを実施した。

「PRONTOは、“嗜む”がキーワードで、コーヒートを嗜む、お酒を嗜む、空間を嗜むという場を目指しています。昼は使い勝手のいいカフェ、夜は仲間と一緒にでも一人でも気軽に入れるキッサカバで、楽しい時間を嗜んでいただければ」（株式会社プロントコーポレーション プロントカンパニー 直営営業部 アシスタントスーパーバイザー 西山朔氏。以下コメントは全て西山氏）。

■滞在時間が延び、オーダー数も増加して売上が向上

2020年4月1日に改正健康増進法が施行される以前は、『PRONTO』のほとんどの店舗が分煙を実施。池袋西口公園店は喫煙室を設けており、飲食しながら紙巻きタバコを吸うことができた。

「あそこならゆっくりタバコを吸えるからと、出勤前、休憩時間や昼食後、打ち合わせ、帰宅前、一杯飲みながらなど、一日に複数回来店する喫煙者がかなりいらっしゃいました」

だが2020年4月以降、喫煙室が加熱式タバコ専用室となり、店内で紙巻きタバコが吸えなくなると、客足が鈍り、ヘビーユーザーの来店頻度も激減。売上にも大きく響いた。

「これまで店を支えてきてくださった常連のお客さまからの、タバコを吸えるようにしてほしいという要望が多く、また、キッサカバに来店されて、タバコを吸えないからと他店へ行ってしまってお客さまがいらっしゃる。喫煙できることが集客の大きなポイントになることを改めて痛感しました」

本部に相談したところ、既に系列店に導入され、高い機能が評価されている、エルゴジャパンのスモーククリアを薦められた。「話を聞くと、ダクト工事不要で設置するだけの手軽さが魅力でした。コスト面ですが、厨房にはダクトがあり、メンテナンスが負担になっていたからです」

そして2022年11月に、加熱式タバコ専用喫煙ルーム内のテーブル2卓4席をつづして、スモーククリア二人用を設置。店舗外には『喫煙ブースあります』と記したPOPを張り、喫煙できることをアピールした。すると、「紙巻きタバコが吸えるようになったんだね」と流出したお客が戻り、来店頻度が減ったお客も、従来のように一日に複数回来店するように。

「導入時期が11月で、すぐに忘年会シーズンでしたが、喫煙できることで、新規客が増え、二次会、三次会の利用も取れました。ブース外に煙もニオイも漏れず、喫煙した方の髪や衣服にニオイがつくこともないので、タバコを吸わない方も全く気にならないようです。タバコを嗜める場にもなったことで、客数が増えて滞在時間が延び、もう一品、もう一杯が取れ、客単価も上がりました。客席が4席減ることによる機会ロスを心配していましたが、スモーククリア導入による集客効果の方がはるかに大きく、全く問題ありません。メンテナンスも営業終了後に吸い殻を回収するだけなので、手間が掛からずスタッフも喜んでます」

喫煙者にも非喫煙者にも快適な環境と満足をもたらす、スモーククリアによるクリア分煙は、同店の大きな武器になっている。

都心のターミナル駅、池袋駅から徒歩3分の「PRONTO 池袋西口公園店」は、30年近い歴史がある直営店だ。現在は、昼はカフェ、夜は酒場づかいができる「キッサカバ（喫茶酒場）」として営業。席数が多く、様々なシーンに対応することから、日に複数回来店する常連客も多く、終日にぎわう。

株式会社プロントコーポレーション プロントカンパニー 直営営業部 アシスタントスーパーバイザー 西山朔氏



昼間はすっきりしたカフェの顔だが、夜はのれんを掛け、ネオン管を灯してキッサカバに



店舗外には店舗機能を記載した掲示板を貼るなど、喫煙および加熱式タバコ使用可能であることをアピールした



店内には新しいブランドキャラクター「Moss（モッシー）」のネオン管もディスプレイされている



加熱式タバコ専用室内の2卓4席をつづしてスモーククリア二人用を設置。外部に煙やニオイが漏れず、メンテナンスも営業終了後に専用灰皿の吸い殻を回収するだけで手間がかからない



左カフェタイムは、軽食の他、コーヒに合うスイーツ、パスタなどをラインアップ
右キッサカバタイムは、オリジナルのアルコールドリンクが充実。フードでは、タコさんウィンナーが人気だ。懐かしい喫茶メニューも揃えている

導入の決め手

- 紙巻きタバコ愛用者のニーズに最適。
- ダクト工事が不要で、設置場所を選ばない。
- 導入コストもランニングコストもリーズナブル。
- 導入済みの系列他店で機能性が高い評価。

導入効果

- 禁煙期間に離反したお客が戻り、来店頻度も従来同様に。
- 滞在時間が長くなり、客単価もアップして売上が向上。
- 喫煙者の満足度が高まり、非喫煙者にも快適な空間に。
- 新規客の取り込みや利用シーン拡大に効果。